

コシヒカリ生育速報 第6号

令和7年7月25日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309

○ 2回目穂肥（全量基肥の追加穂肥）
をまだ施用していない場合は

➡ ただちに施用！

○ 葉色がかなり淡い場合は

➡ 穂肥を増量！

【7月24日の生育状況】（管内10か所平均）

葉色(SPAD値)	指標値差
31.0	-2.5（淡い）

- 葉色（SPAD値）は、さらに低下している。
品質が大きく低下した令和5年より葉色が淡い。
- 1か月予報（7/24新潟地方気象台発表）
気温は平年に比べて高い確率が70%で、
平年に比べ晴れの日が多い見込み。

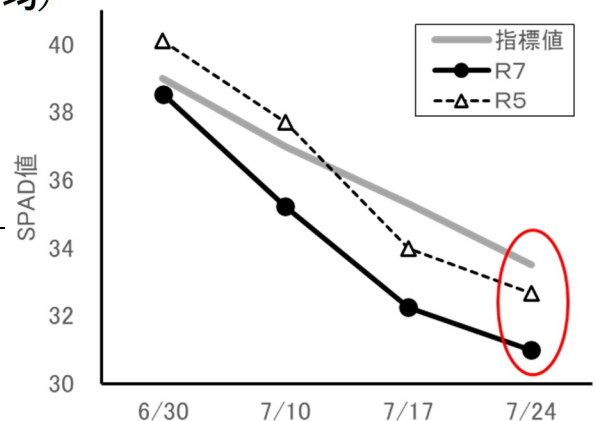


図 葉色の推移（管内10カ所平均）

【今後の管理のポイント】

1 2回目穂肥はただちに施用

- 分施肥体系 2回目穂肥をまだ施用していない場合は、ただちに施用する。
- 基肥一発体系 出穂期の葉色（SPAD値）が32～33を下回ると予想される場合は、ただちに追加穂肥を施用する。
- 葉色がかなり淡い場合や、3回目穂肥の対応が難しい場合は、2回目穂肥を増量する。

（窒素成分で2kg/10aまで）

表 コシヒカリの2回目穂肥の標準的施用量

N成分量	【施用例】 越後の輝き有機30穂肥
1～1.5 kg/10a	8.3～12.5 kg/10a

表 田植日と出穂期（予想）

田植日	5月15日	5月20日	5月25日
出穂期	8月2日	8月4日	8月6日

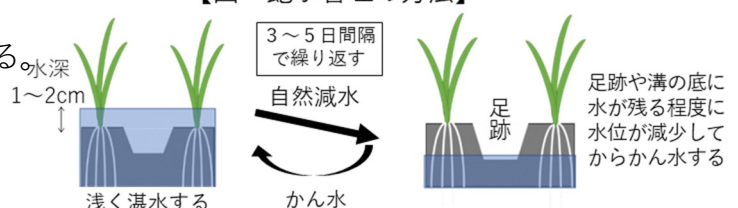
2 葉色が淡い場合は、3回目穂肥を走り穂が出る頃までに施用

- 2回目穂肥施用後も、葉色が淡い場合は分施肥体系、基肥一発体系いずれの場合も、速効性肥料で追加穂肥（3回目穂肥）施用する。（出穂期3日前頃に窒素成分1kg/10a）。
（※特裁米で計画にない追加穂肥や施用量を増やす場合は所定の手続きを行う）

3 水管理は、飽水管理で品質・収量確保

- 飽水管理により、用水を有効活用し、根の活力を維持しながら地温上昇を抑える
- かけ流しは、絶対にしない。
- 番水やローテーション等、地域での水管理体制を検討し、用水を有効利用する。

【図】 飽水管理の方法



農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな水分・塩分の補給や休憩が大切です。

次回発行
7月31日